バ、同書ノ著者デアル、佐藤信淵社中(佐藤家ハ天文、地理、農業物産ノ學ヲ修メ、且國土經緯ヲ論ズル家柄)ノ一人デアリ、マタ、同書ノ上梓ヲ令息信昭氏ニ慫慂シタ一人デアル、從ツテ、じやがいもノ圖デモ、腊葉カラ復元シタ近頃ノ圖トハ異ルノモ當然デアル。愛國憂世ト云フコト.ト、博物學的ノ學問トハ、無緣ノ樣ナ誤謬モアル現代ニ於テハ、大イニ參考ニ資スベキモノト考ヘラレ、故人ノ人トナリガ偲バレルデハナイカ、シカシテ、經世家ト云フモノハイツモ兩志士ノ如キ輿床シサガアツテ慾シイ。

○ハブテコブラ (久内清孝)

此名稱ハ、本草時代ニハ今日云フおほけたでノ名トシテ用ヒラレタ、シカシ、おほけたでガ果シテ其名デ輸入サレタモノカ、或ハおほけたでニ非ザル別ノモノガ、其名デ輸入サレタモノカ、又別ノ理由、即チ海外ニハウテコブラト云フモノガアツテ、おほけたでガソレト同一ノ性質ノモノト思ツテ、おほけたでヲ其名デ呼ブニ至ツタモノカ、其點ハ余ノ調査不備ノ爲不明デアルガ、何レニシテモ、ハウテコブラトハ如何ナル意味ヲ有スルカハ興味アル次第デアル。荒川惣兵衞氏ハ外來語辭典デ葡語ノ pao de cobra ノ變化デアルト見テ居ルガ面白イ考ヘ方デアル。

尙おほけたでガ在來アツタモノカ、外來ノモノカニ就テノ意見モアル樣ダガ、本草綱目啓蒙ガ「野生ハナシ」ト云ツテ居ルノガ當ツテ居ルト思ハレル、尙同書ニ「蠻舶來ニハブテコブラト呼モノアリ用テ蝮蛇ノ毒ヲ解スコノ莖草用モ同シ效アル故ニハブテコブラト呼又轉化シテカブテコブラ肥前ト呼」ト記シテ居ルガ、之モマタ面白イ考ヘ方デアル。

○花ノ圖案化ノ 1 例 (久内清孝)

本誌 XI 卷 p. 319 デ、學校ノ徽章ニナツテ居ル植物ノ例ヲ擧ゲテアルガ、田中貢一氏著信濃の花(明治 36 年)ニ依レバ、とがくししようまノ花ガ圖案化サレタ例ガ擧ゲテアル。同書ニ依レバ明治 35 年 5 月 23 日ニ東宮殿下(大正天皇)ガ長野師範ニオ成リニナリシ折、此花ヲ御覽ニ入レシ記念トシテ、此花ヲ圖案化シタ徽章ヲ作リ、當時ノ在校生一同ニ頒ツタト云フノデアル。

○遠 志 (久内清孝)

遠志ト云フ漢名ハ、我國デハ往々ひめはぎノ漢名トシテ慣用サレ、現在デハ大陸産ノいとひめはぎノ名稱トナツテ居ルカラ、ソレデヨイガ、明ノ嘉正 10 年頃(享錄 4=1530)ノ博物志卷之四、藥物ノ條ニ「遠志ハ苗ヲ㆓曰フ㆒小草ト根ヲ㆓曰フ㆒遠志ト」アルカラ、元ハ生藥名デソレガ植物名ニナツタモノカモ知レナイ。尤博物志ナシカハ、學者即チ科學者ノ見ルベキ本デナイトスレバ、ソレ迄ダガ、シカシ面白イ考ヘ方ノ樣ニモ思ハレル。